2020年7月29日　朝日新聞　『幻の車、光を当てた白黒写真　驚きの手仕事が原点だった』

国産四輪車 普及の夢乗せた

手板金でボディー 高い技術力

復興のオリジン 被爆75年 1

75年前の原爆で焼け野原となった広島。その数年後、原爆で社屋を焼かれた自動車販売会社と車体加工業者が協力し、職人が手作業で板金加工してボディーを取り付けた四輪乗用車がつくられていた。幻の車に光を当てたのは、86歳の被爆者が大切に保管していた1枚の白黒写真だった。

白黒の写真は語る

2007年秋、広島トヨタ自動車（広島市中区）の企画室長だった菅川純子さん(49)＝現・同社取締役＝は、新年の卓上カレンダーを作るため、古い写真を集めていた。その中で、武骨なフォルムの四輪乗用車を職人たちが取り囲んだ写真に行き当たった。

持ち主は廿日市市の中川太芽雄（ためお）さん(86)。中川さんの父輝義さんは戦後、トラックなどの車体の板金加工を手がけていた。

広島トヨタの初代社長の故・藤井巌さん＝同社提供

広島トヨタ自動車の「ヒロセキタマチ１号」＝1950年ごろ、広島市、同社提供

広島トヨタ自動車（広島市中区）

写真はカレンダーに採用されなかったが、思わぬ形で広島トヨタの藤井一裕社長(56)の目に留まる。08年のリーマン・ショックで同社の販売台数は半分近くに低迷。藤井社長は「先が見えなくなる中、あの写真に自分たちのオリジン（原点）を感じた」という。

菅川さんらは写真の由来を中川さんから聞き取った。「トヨタの本社がある愛知からハンドル付きのシャシー（車台）を運んできた」「父の会社にいた職人たちが手仕事で板金加工していた」。中川さんの証言に、菅川さんらは驚いた。

戦前から四輪乗用車と言えば外車がほとんど。終戦後は連合国軍総司令部（GHQ）が乗用車の生産を制限していた。そんな中、「国産四輪自動車への夢をあきらめなかった証しではないか」。そう考えた菅川さんらは09年1月、リーマン・ショックで落ち込んだ社員たちの士気を高めようと、この写真を使って社内向けのポスターを作製。戦後再興の地となった広島市広瀬北町（現・中区）にちなみ、この車を「ヒロセキタマチ1号」と名付けた。

広島トヨタは1936年創業。実質的創業者で、戦後の初代社長となったのは、藤井社長の祖父巌（いわお）さんだった。巌さんは戦前、大衆向けの四輪車が街にあふれる米国に渡り、乗用車時代の到来を実感。帰国後、自動車販売を志し、広島市千田町2丁目（現・中区）で広島トヨタの前身会社を立ち上げた。

ヒロセキタマチ１号が撮影されたと思われる場所とほぼ同じ位置に立つ広島トヨタの藤井一裕社長（左）と中川太芽雄さん＝同市中区

アルバムを見ながら当時を振り返る中川さん＝同市中区

45年8月6日、朝礼で社員に訓示した直後に原爆は落とされた。巌さんは崩れ落ちた社屋の下敷きになり、大量のガラス片が肩や背中に刺さったが、奇跡的に生き延びた。

白黒写真を保管していた中川さんは当時、袋町国民学校（現・広島市立袋町小学校）の6年生で、県北部に疎開していた。爆心地から百数十㍍の広島市猿楽町（現・中区）に父が営む車体加工場があった。工場兼自宅は原爆で焼かれたが、父は出征中で無事だった。中川さんは原爆投下の3日後に入市被爆。「街中丸焼けだと聞いたが、本当にがれきの山だった」

翌46年、広島トヨタは広瀬北町に本社を移転。中川さんの父も復員後、広瀬北町に車体加工場を構えた。白黒写真はその後間もなく撮られたとみられる。

コロナ禍の支えに

写真をもとにトヨタ自動車の広報に尋ねると、「1950年前後に小型トラックをベースにつくられた可能性が高い」という。

トヨタの社史などによると、終戦後、トラックのボディー加工や取り付けは各地の販売店の協力業者が担っていた。GHQによる乗用車の生産制限が解除された49年ごろから、小型トラック用のシャシーを流用した四輪乗用車が地方でつくられ始めた。

クラシックカーなどを収集・展示する福山自動車時計博物館（福山市）の宮本一輝（いつき）副館長(45)は「1950年ごろの広島では、地元の東洋工業（現マツダ）が三輪トラックをベースにタクシー用の三輪乗用車をつくっていたが、国産の四輪乗用車はほとんどなかったはず」と指摘。「職人の手板金でつくった車体の出来栄えに、技術力の高さがうかがえる」と目を見張る。

戦後75年の今年、コロナ禍で販売に苦しむ広島トヨタは、ヒロセキタマチ1号を使ったポスターや小冊子を改めてつくる構想を温めている。自分たちの「原点」を見つめ直すためだ。

藤井社長は、89年に他界した祖父の思いを継ぐ。「あの原爆を乗り越え、乗用車普及の夢を捨てなかったからこそ、今がある」　（辻森尚仁）

◇

広島への原爆投下から75回目の夏。戦前・戦後に創業した県内企業の「復興のオリジン（原点）」を4回にわたって描く。